

社会福祉法人ぶどうの木
2022年度事業報告書

(2022年4月1日～2023年3月31日)

I 概況

前年度に引き続き2022年度も新型コロナウイルス感染症への対策を行いながら事業を進めました。感染者数が減少する時期がありながらも、対策を怠ることなく、各種研修会や会議にオンラインで参加したり、当館主催の各種勉強会等をZoomと来館のハイブリッドで開催したり、在宅勤務の継続等を行いながら従来通りの図書館サービスを実践することができました。

今年度は創立70周年を迎えるにあたり、その歴史を振り返りながらも、日々変化していく利用者のニーズに対応すべく、職員・ボランティア・関係団体等の協力のもと、新しい試みやIT機能を活用して業務を行ってきました。読書バリアフリー法が制定されてからは、アクセシビリティの保障に向けて、図書館のみならず、出版社等民間企業においても様々な動きがありますが、それらと有機的に連携する必要があります。そのような動きについての情報収集を行いながら、この1年を通して、少しでも利用者への情報提供の幅を広げることを意識し、業務に取り組んだ成果をご報告いたします。

II 重点施策

1. 電子書籍（テキストデイジー）製作体制の整備

全国でも製作が進められており、今後さらなる利用が予想される、テキストデイジーの製作について、整備しました。

テキストデイジーは、音声デイジーと同じような編集方法のため、ページを指定して一瞬でそのページを読める等、検索性に優れています。また、文中の漢字を確認できたり、好みの合成音声での再生もできます。そして点字や録音と比較して製作時間が短いことは、利用者にとって大きなメリットです。

まず、テキストデイジーに必要なテキストデータを作成するための機材として、紙に書かれたものを読み取り、画像データとして取り込むスキャナーを購入し、画像データを文字データに変換するOCRソフトを用意しました。

テキストデイジーは、試験的に数タイトル製作していましたが、テキストデータを製作することはしていませんでした。今回、テキストデータの作り方と、テキストデイジーの作り方の両方を習得するため、外部講師による研修会を実施しました。2つのデイジー編集グループと、音訳グループ、計3グループから14名の参加がありました。研修後、まずはテキストデータを製作するため、職員で手順を検討し、無事活動に入りました。

今後は、製作したテキストデータを点字製作にも活用し、利用者がテキストデータ、

テキストデイジー、点字と、媒体を選択できるよう整備していきます。また、全国基準に則った製作に努め、質の向上を目指します。

2. ICTサポートの拡充

昨年度から取り組んでいるデイジー図書再生機の貸出については、相談のため来館された方へ、実際に再生機と一緒に操作しながら説明し、利便性を理解していただくとともに、入手方法についてもご案内しました。その際利用登録も行い、ご希望のデイジー図書と再生機を無償で貸出しました。

ICTサポート全般に対する相談は多くはなかったものの、Windowsバージョンアップの問い合わせ、スマートフォンアプリの紹介、サピエ図書館の検索方法等、その利用者が希望している「困っていること」「知りたいこと」を、個々に対応することができました。今後も、来館の可否によらず、個々のニーズや習熟度に合わせて丁寧にお伝えし、誰もが必要な情報にアクセスできるよう、支援を続けていきます。

3. ホームページを活用した情報発信の強化

インターネットを効果的に活用することが有効であることは周知されていますが、当館でもそのひとつの手段として、ホームページを活用していただくことに取り組みました。

支援者向けニュースレター「通信あけのほし」の理事長の巻頭言とご挨拶、新刊図書案内「ロゴスのほん箱」の「潮見からのメッセージ」部分をホームページに掲載、ロゴスについてより知っていただける工夫をしました。さらには、支援者からのホームページへのアクセスの仕方の問い合わせや、利用者からの「ロゴスのほん箱」点字データ・デイジーデータのダウンロードの仕方をご案内するなど、ホームページに関わる対応をしつつ、PRにもつとめました。

また、アクセス数等、毎月職員で共有し、今後の向上について分析するようにしました。今後は、コンテンツ内容を一層充実させ、利用者・支援者の拡大を目指します。

Ⅲ 事業報告

1. 蔵書の貸出・製作

2022年度の貸出実績は、点字図書279タイトル(690冊)、デイジー図書は2,312タイトル(2,353枚)、テープ図書は、87タイトル(460巻)でした。

点字図書について、点字離れが進んでいると言われるなか、2021年度の196タイトル(484冊)を大幅に上回りました。これは、一定の利用者がコンスタントに利用していることによると推測されます。デイジー図書について、2021度は2,348タイトル(2,471枚)でした。若干減少したものの、ほぼ横ばいでした。テープ図書について、2021年度は255タイトル(1,464巻)で、大幅な減少となり、デイジーへの移行が反映された結果となりました。

またサピエ図書館に登録している当館蔵書の年間ダウンロード総数は、点字データが延べ利用者632人に対して271タイトル(907巻)、デジータデータが延べ利用者18,184人に対して1,975タイトル(15,120時間10分)で、全国の方に利用していただきました。

点字図書の製作は、24タイトル(71冊)、デジータ図書は243タイトル(243枚)でした。テープ図書については、昨年度製作を終了しました。図書製作リクエストについては、当館の蔵書方針に合致していたため、そのほとんどを蔵書として製作しました。

プライベートサービスについては、点字・録音の各種資料を利用者のニーズに応じて製作しました。また、カトリック中央協議会のホームページ掲載の「ミサの式次第と第一～第四奉獻文(会衆用)」の点字版・デジータ版を製作し、サピエ図書館にデータをアップしました。希望者にはプライベートサービスとして提供し、多くの利用がありました。

2. ボランティア養成

点訳ボランティアについては、点訳ソフトの最新機能であるBESXの利用促進を図るため、ボランティア間でお互いにサポートしました。また、点訳校正勉強会を毎月開催しました。Zoomと来館によるハイブリッド方式で行い、職員と共に問題を解きながら、理解を深めたり、情報交換により活動の充実につなげました。

音訳ボランティアについては、音訳勉強会を11回、音訳校正勉強会を10回開催しました。音訳ボランティアの勉強会についてもハイブリッド方式が主流となりました。2022年度は、全国の音訳指導員認定試験に合格したボランティアもおり、技術向上へのモチベーションがアップしたり、近況報告も含めたやりとりが活発で、音訳の悩み等を解決する場として、意義のある勉強会となりました。2022年度は講師の都合で、例年行っている外部講師による読みのスキルアップ研修ができませんでしたが、2023年度から再開する予定です。

2022年度は、初の試みとして点訳・音訳合同勉強会を開催しました。ボランティアの心構え等初心に帰る内容で、同じ目的に向かって活動している両ボランティアが同じ思いを共有できた勉強会でした。引き続き2023年度も開催する予定です。

3. 利用者サービス

日々の利用者からの声に耳を傾け、ニーズを把握しながら対応しました。レファレンスサービスでは、ご希望の資料をご案内できるよう、サピエ図書館をはじめ、国立国会図書館、各図書館のホームページ等各種ツールを駆使して検索し、ないものは蔵書やプライベートサービスとして点訳・音訳しました。

資料以外の生活上の困りごとについても相談に乗り、情報提供を行いました。

遠方の利用者については、地元の図書館や関係団体と協力し、問題解決につなげまし

た。今後も利用者が相談しやすいような環境づくりをしていきます。

4. 地域貢献（点字教室、ICTサポート）

来館できる方を対象にした中途失明者向け点字教室を、月2回、1人1コマ60分で行いました。個々の目標やレベルに合わせたテキストを使用し、講師とマンツーマンで点字を学んでいます。講師も中途失明当事者であることから、見えにくさによる日常生活の困難など、さまざまな相談にも寄り添っています。

ICTサポートでは、スマートフォンやパソコン操作などについて、来館のほか電話での相談にも対応しました。

5. 啓発活動（恒例行事）

2022年度もコロナ禍の状況によって、予定していたチャリティ映画会は中止となりました。講演会「ロゴスの文化教室」も実施しませんでした。

2023年度は70周年記念式典を11月18日（土）に開催いたします。行事については、コロナ禍で状況が変化し、今後どのようなかたちで行ったらよいのか、検討を進めます。多くの方がご参加いただけるよう、コロナ後の新しい行事のあり方、開催方法に取り組んで参ります。

6. 定期刊行物・出版

支援者向けニュースレター「通信あけのほし」を年4回発行しました。2022年度から、7月発行分を「事業報告（抜粋版）」としました。利用者向け新刊図書案内「ロゴスのほん箱」は隔月で発行しました。全国の図書館で、テープ資料の中止、所蔵の除籍が相次いでいます。当館でも2022年度からテープ図書の製作を終了したことに加え、新刊図書案内「ロゴスのほん箱」も利用者のデジ版移行を推進し、テープ版を終了しました。また、「ロゴスのほん箱」については、ホームページに加えて、サピエ図書館へもデータをアップし、全国の視覚障害者等に提供したことで、当館への利用登録につながった例もありました。

有料のものについては、カトリック教会のミサで用いる「聖書と典礼」の点字版を発行しました。点字を読むことが難しい方に向けての「聖書と典礼」デジ版は昨年度プロジェクトを立ち上げ、試行して参りました。引き続き試作を進め、2023年度中の提供を目指します。

点字出版については、最新版の「点字技能検定試験の対策」のほか、「新しい『ミサの式次第と第一～第四奉獻文』の変更箇所」、「ともにささげるミサ 新訂版」の出版、大阪大司教区発行の「大阪カトリック時報」等の受託製作をしました。

7. 関係機関との連携

2022年度は参議院議員選挙が行われ、これに伴い、全国の視覚障害関係施設が

加盟している視覚障害者選挙情報支援プロジェクトの一員として、点字版「選挙のおしらせ」の製作に職員総出で協力しました。

近隣地域の公共図書館等との協力は、公共図書館が開催する視覚障害者サービス関係研修会の講師を紹介しました。当日は当館職員も参加し、公共図書館における障害者サービスの把握につとめました。

全国視覚障害者情報提供施設協会（全視情協）の各委員となり、貢献するとともに、それらに参加することによって職員のスキルアップを図りました。また、大会、総会、研修会、IT支援関係機関連絡会など、オンラインでの開催を生かして多くの職員が参加しました。

主な委員等は以下の通りです。

- ・日本点字委員会 委員
- ・全国視覚障害者情報提供施設協会 サービス委員
- ・同協会 同委員 著作権プロジェクト
- ・同協会 録音委員 音声デジータ登録団体資格審査プロジェクト
- ・同協会 点訳委員 資料類整備プロジェクト
- ・障害のあるがん患者のニーズに基づいた情報普及と医療者向け研修プログラムの開発に関する研究 メンバー
- ・関東ブロック音訳指導員養成講習会実行委員会 メンバー

8. 各種規程・定款の見直し

コロナ禍の影響で、変化する業務内容を捉え、規程の見直しの検討をしました。その中で、経理規程・組織規程・定款の変更をしました。今後も法改正を把握し、現在の事業と照らし合わせ、組織に合うように見直しを進めていきます。

9. 法人業務・会議体

2022年度は書面による決議を含め、理事会4回、評議員会3回、監事による決算監査を1回、理事懇談会1回を開催しました。

評議員選任・解任委員会を開催し、評議員1名を選出しました。理事会での主な議題は2021年度事業報告並びに決算、2022年度補正予算、2023年度事業計画並びに予算などです。また、評議員会では理事会で審議された2021年度事業報告、決算、理事の選任などが審議され、全会一致で承認されました。

IV 統計データ

1. 貸出数

①資料の貸出

	点字図書		テープ図書		CD図書	
	タイトル数	冊数	タイトル数	巻数	タイトル数	枚数
総貸出数	279	690	87	460	2,312	2,353
個人への貸出	111	305	23	105	528	545
他館への貸出	32	74	57	334	669	691
他館より借受貸出	136	311	7	21	1,115	1,117

②分類別貸出数

	点字図書		テープ図書		CD図書	
	タイトル数	冊数	タイトル数	巻数	タイトル数	枚数
0 総記	1	2	0	0	28	28
1 哲学	123	303	22	113	509	530
2 歴史	15	53	7	37	123	123
3 社会科学	19	58	5	19	107	107
4 自然科学	18	36	0	0	45	63
5 技術	3	4	0	0	7	7
6 産業	0	0	1	5	21	21
7 芸術	9	14	2	2	195	195
8 言語	4	16	0	0	4	4
9 文学	52	157	35	211	1,192	1,194
J 児童図書	35	47	15	73	81	81
合計	279	690	87	460	2,312	2,353

2. サピエ利用状況（当館製作データ）

① 点字データ ダウンロード数

271タイトル 907巻 延べ利用者632人

② デイジーデータ ダウンロード数

1,975タイトル 15,120時間10分 延べ利用者18,184人

③ デイジーデータ 再生数

1,009タイトル 1,347時間35分 延べ利用者 5,058人

3. 蔵書数

	点字図書		テープ図書		CD図書	
	タイトル数	冊数	タイトル数	巻数	タイトル数	枚数
総蔵書数	2,443	7,952	5,144	28,494	4,188	4,260
自館製作	1,830	5,862	4,697	26,160	2,780	2,790
他館製作	4	29	10	59	2	4
寄贈	364	1,283	431	2,180	1,399	1,437
購入	245	778	6	95	7	29

※今年度除籍数 点字図書 23 タイトル 175 巻

4. プライベートサービス

①点訳 4件 2,238ページ

②点字データ 打ち出しサービス 40件 6,410ページ

③音訳 1件 3時間33分

④デジータデータ コピーサービス 37件 191タイトル